

研究紀要

第32号 平成31年3月

研究紀要

Journal of The Institute of Religion and Culture

New Series No.32 March, 2019

目次

出羽国由利郡地頭由利維平をめぐって —源頼朝政権と出羽国—	野口 実	1
<平成29年度 宗教・文化研究所公開講座講演録要旨> 水無瀬離宮(水無瀬殿)の空間構成と機能について	豊田 裕章	19
承久の乱を考える	上横手 雅敬	33
<平成29年度 仏教文化公開講座講演録> 仏教・浄土真宗における「輪廻転生」の説示	松尾 宣昭	43
樹木葬墓地の特性と墓制での位置づけ ～「京都の樹木葬」意識調査から～	横村 久子	75
『俱舍論』安慧釈(TA)に見られる『順正理論』(NA) —三世実を説を巡って—	秋本 勝	51
京都の自然を活かした自然体験と環境教育の推進(1)	宮野 純次	37
災害社会学の成果に基づく社会科「災害単元」の開発研究(2)	松岡 靖	21
宗教歌の演奏について ～メンデルスゾーンの讃美歌に着目して～	ガハプカ 奈美	1

第32号(平成三十一年三月)

京都女子大学宗教・文化研究所

CONTENTS

Yuri Korehira, Land Steward of Yuri County in Dewa Province : How Minamoto no Yoritomo Government over Dewa Province Dominated	Minoru NOGUCHI	1
Public Lectures : The Total Space Composition and the Functions of the Minase Detached Palace (Minasedono)	Hiroaki TOYODA	19
A Study of Jokyu Revolt in 1221	Masataka UWAYOKOTE	33
The Teaching of "saṃsāra" in Buddhism or Shin-Buddhism	Nobuaki MATSUO	43
The Character of the Tomb by Tree & the position in System of Cemetery ～by a Consciousness Research on "the Tomb by Tree of Kyoto"～	Hisako MAKIMURA	75
Samghabhadra on Traikālyā —fragments of NA cited in TA—	Masaru AKIMOTO	51
Promotion of nature experience and environmental education based on the natural environment of Kyoto (1)	Junji MIYANO	37
Development of "Unit of disaster" in social studies by "sociology of disaster" (2)	Yasushi MATSUOKA	21
Über die Aufführung religiöser Lieder ～Schwerpunkt : Mendelssohns Kirchenlieder～	Nami GAHABKA	1

平成29年度事業報告

1 研究助成

I 「仏教文化及び宗教文化に関する研究」のテーマ部門

〈個人研究〉

- ① 「仏教讃歌と讃美歌における歴史の変遷〜演奏を通して〜」

兼任研究員 ガハブカ 奈美

II 「人文・社会・自然の各分野における研究」のテーマ部門

〈個人研究〉

- ① 「京都女子大学図書館と学園アーカイブに関する研究」

兼任研究員 桂 まに子

- ② 「災害社会学の成果に基づく社会科『災害単元』の授業開発」

兼任研究員 松岡 靖

- ③ 「京都の自然を活かした自然体験と環境教育の推進」

兼任研究員 宮野 純次

〈共同研究〉

- ① 「平和を創る―理念と実践―」

研究代表者・兼任研究員 市川 ひろみ
 研究分担者・兼任研究員 坂口 満宏

中西 恭子
 岩槻 知也
 黒田 義道
 桂 博美
 中田 兼介

2 公開講座

仏教文化公開講座

日時 平成二十九年十月二十八日(土)
 午後一時〜二時四十五分

場所 京都女子大学 礼拝堂(A校舎五階)
 ・ 講題 「仏教・浄土真宗における『輪廻転生』の説示」

講師 元龍谷大学文学部教授・浄土真宗本

願寺派司教

松尾 宣昭

宗教・文化研究所公開講座

I 日時 平成二十九年六月十七日(土)

午後一時～五時

場所 京都女子大学 B校舎五〇一教室

テーマ「承久の乱と水無瀬殿 後鳥羽院政下の

政治と文化」

(シリーズ 東山から発信する京都の歴史と文化⑱)

・ 講題「水無瀬離宮の空間構成と機能について」

講師 京都大学人文科学研究所共同研究

員・国際日本文化研究センター共同

研究員

豊田 裕章

・ 講題「承久の乱を考える」

講師 京大名誉教授

上横手 雅敬

II 日時 平成二十九年九月十六日(土)

午後一時～五時

場所 京都女子大学 礼拝堂(A校舎五階)

・ 講題「仏さまの慈悲と私の優しさ」

講師 京都女子大学非常勤講師

三浦 真証

・ 講題「法然聖人と親鸞聖人門流の人びと」

講師 京都女子大学発達教育学部准教授

黒田 義道

3 研究紀要「第31号」

研究発表

東国に下った仏教者と在地武士

— 親鸞・忍性と宇都宮氏の一族 —

野口 実

個人化・無縁化する社会の公共墓地の変化と対応

槇村 久子

アイランド共和国の小学校における宗教教育

— カトリック新カリキュラムを中心に —

表 真美

明治期京都・高島屋における染織作品下絵の制作過程の研究

廣田 孝

地域の自然を活用した自然体験と環境教育の取り組み(二)

宮野 純次

4 研究所だより

第65号（七月発行）
第66号（二月発行）第三十二回懸賞論文発表表

〈平成二十八年年度宗教・文化研究所公開講座講演録要旨〉
庭園文化にみる京都と平泉―御室地域と毛越寺―
京都と鎌倉 野口 実
前川 佳代

大乘仏教の展開と仏説論 能仁 正顕

「念仏・和讃」データベースとeラーニングの構築―その二― 遠山 和 大他

宗教歌の原語演奏について―ドイツにおけるM・ルターの宗教改革と音楽から―

ガハブカ 奈美
オーケストラ編成による仏教音楽の製作《祝典序曲》 安村 好弘

5 懸賞論文募集

テーマ

（京都女子大学学生及び京都女子大学大学院生）
親鸞の思想、仏教思想や宗教思想等あるいは現代社会の直面しているさまざまな問題について、宗教の視点も加えて論評したもの。たとえば性差別や生命倫理の問題、地球環境、国際関係、ITの普及、少年犯罪やカルト宗教をめぐる問題などに関するもの。題は自由。また、エッセイの形式でも可。

- 1 私と宗教
 - 2 積尊に学ぶもの
 - 3 親鸞聖人に学ぶもの
- 題は自由につけてください。
（京都女子中学校生徒）

- 1 私と宗教
 - 2 おしゃかさまと私
 - 3 親鸞さまと私
- 題は自由につけてください。
（京都女子大学附属小学校児童）
「ほとけさまのこと」「おしゃかさまのこと」

「しんらんさまのこと」について書いてください。
題は自由につけてください。

(京都幼稚園年長組園児)

みほとけさまの絵

平成二十九年年度報告

応募数 630編

大学・大学院生

高校生

中学生

小学生

幼稚園児

入選者 72編

大学・大学院生の部

優秀作

秀作

佳作

努力賞

高校生の部

優秀作

秀作

佳作

中学生の部

秀作 2編

佳作 1編

小学生の部

金賞 13編

銀賞 28編

幼稚園の部

入賞 6編

6 宗教・文化研究所ゼミナール活動

ゼミナール

テーマ…中世前期の社会と文化

内容及び日時

①史料講読会

『吾妻鏡』講読(主に歴史学専攻者対象)

通年 毎週木曜日 午後三時～七時

②研究会

平成二十九年十月十二日

岩田慎平(立命館大学非常勤講師)が「中

世前期の公武権力と軍事動員について」長村

祥知氏「中世前期の在京武力と公武権力」の
検討」と題する研究報告を行った。

③機関誌『紫苑』の発行
第十五号を発行した。

④その他

平成二十九年六月十七日に行われた研究所主
催の公開講座に際しては、その実施にあたっ
て受付などに積極的に協力し、講座修了後に
講師及び来席した研究者等と懇談会を行った。

7 その他

資料サービス

図書・視聴覚資料の貸出

編集後記

◇ここに「研究紀要」第三十二号を発刊する運びとなりました。
ご協力いただいた先生方には、心より御礼申し上げます。今回も各先生方から、多岐にわたる研究分野の成果を寄稿いただき、深く感謝致します。

◇平成二十九年年度の宗教・文化研究所公開講座は「承久の乱と水無瀬殿 後鳥羽院政下の政治と文化」というテーマのもと、第I部は、京都大学人文科学研究所共同研究員・国際日本文化研究センター共同研究員の豊田裕章先生に「水無瀬離宮の空間構成と機能について」と題して講演いただきました。また、引き続き第II部では、京都大学名誉教授、上横手雅敬先生に「承久の乱を考える」と題して講演していただきました。

◇平成二十九年年度の仏教文化公開講座では、元龍谷大学文学部教授・浄土真宗本願寺派司教の松尾宣昭先生に「仏教・浄土真宗における『輪廻転生』の説示」と題してお話いただきました。

◇いずれの公開講座もたくさんの聴衆にお越しいただき、それぞれの先生のお話を熱心に聞き入ってくださいました。主催者として御礼申し上げます。

◇今後もより多くの先生方に「仏教文化を中心に、広く宗教と文化に関する研究を推進し、もって学術の発展に寄与することを目的とする」という当研究所設置の趣旨をご理解いただき、多くの研究申請が出されるよう努めていきたいと考えています。

「研究紀要」第三十二号

平成三十一年二月十日 印刷
平成三十一年三月一日 発行

京都女子大学

宗教・文化研究所

所長 普賢 保之

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町三五

電話 〇七五(五三二)七〇七四(直通)

印刷所 株式会社 同朋舎

〒600-8605 京都市下京区中堂寺鍵田町二